

# 第 73 回地域農林経済学会大会（広島大学大会）のご案内

2023 年 6 月 12 日  
地域農林経済学会

第 73 回大会を下記の要領で開催いたします。多数の皆様のご参加をお待ちしています。

**1. 期 日** 2023 年 10 月 27 日（金）～ 10 月 29 日（日）

**2. 日程および会場**

2-1. 開催地 広島大学 東広島キャンパス

住 所 〒739-8528 東広島市鏡山一丁目 3 番 2 号

連絡先 MAHARJAN, KESHAV LALL TEL : 082-424-6947 E-mail : mkeshav@hiroshima-u.ac.jp

長命 洋佑 TEL : 082-424-7960 E-mail : chomei@hiroshima-u.ac.jp

★ オンライン配信について

大会講演会と国際シンポジウムについては、Zoom webinar によるリアルタイムオンライン配信を予定しています。総会、理事会他は現地のみにて開催します。

また、個別報告については、申告制（やむを得ない事由が認められた場合に限定）によるオンライン対応を実施します。詳細は、2-5 をご参照ください。

2-2. 全体プログラム（予定）

【第 1 日】 10 月 27 日（金）地域シンポジウム

○地域シンポジウム [ TBA ] ( 学士会館 レセプションホール )

【第 2 日】 10 月 28 日（土）個別報告・大会講演会・総会

○個別報告 [ 9:00～12:00 ] ( 総合科学部棟・受付 8:30～ )

○会長講演 [ 13:00～13:15 ] ( 大会講演会内 )

○大会講演会 [ 13:00～16:15 ] ( 総合科学部棟 K107 教室 )

○総会 [ 16:30～17:30 ] ( 総合科学部棟 K107 教室 )

○懇親会 [ TBA ] ( 西条 HAKUWA ホテル )

【第 3 日】 10 月 29 日（日）個別報告・国際シンポジウム

○個別報告 [ 9:00～14:00 ] ( 昼休憩を含む )  
( 総合科学部棟・受付 8:30～ )

○国際シンポジウム [ 14:00～16:00 ] ( 総合科学部棟 K107 教室 )

○個別報告 [ 16:00～17:00 ] ( 総合科学部棟 )

【その他】 10 月 27 日（金）

編集委員会 [ 17:00～18:00 ] ( 学士会館 会議室 1 )

理事会 [ 18:00～20:00 ] ( 学士会館 レセプションホール )

10 月 28 日（土）

大会講演会打合せ [ 12:00～13:00 ] ( 総合科学部棟 K109 教室 )

個別報告優秀賞審査委員会 [ 12:10～12:50 ] ( 総合科学部棟 K105 教室 )

同 打ち合わせ会議 [ 8:30～ 8:50 ] ( 総合科学部棟 K105 教室 )

## 2-3. 参加費

現地参加の場合（会場受付での現金による支払い）

大会参加費：普通会員 3,000 円，非会員 4,000 円，学生会員・学生非会員 1,000 円  
懇親会費：普通会員 5,000 円，学生会員 3,000 円

大会講演会および国際シンポジウムへのオンライン参加（zoom webinar）の場合（振込）

大会参加費：1,500 円（すべての参加資格）★

個別報告へのオンライン参加（zoom meeting）の場合（振込）

オンライン個別報告参加費：普通会員 3,000 円★，学生会員 1,000 円★

2-5 の「個別報告（オンライン報告）希望申請」が認められた報告の筆頭報告者のみお支払いください。筆頭報告者のお支払いにより，当該報告の共同研究者は全員が個別報告にオンライン参加できます。

なお，大会講演会・国際シンポジウム と 個別報告 の両方にオンライン参加を行う場合には，会員種別に応じたそれぞれの参加費の合計金額をお支払いいただきます。

### ★ オンライン参加の場合の参加費振込先について

< 郵便振替口座 >

口座番号：01040-2-44148

加入者名：地域農林経済学会

郵便局備え付けの払込取扱票をご利用いただき，10/20(金)までにお振込み下さい。払込取扱票の控えが領収証の代わりとなりますので，大切に保管ください。

払込取扱票の通信欄には，

- (1) 会員番号，
- (2) お名前，
- (3) 郵便番号，
- (4) 住所，
- (5) 電話番号，
- (6) 参加内訳（大会講演会・国際シンポのみ，個別報告のみ，両方のプログラム）

をもれなくご記入の上，お振り込み下さい。

※ 年会費が未納の方は，年会費支払用の振替用紙を使用し，年会費と参加費を合計した金額を振り込んでいただくことも可能です。（年会費未納会員に対しては，近日中に，案内状と振込用紙を発送予定です）

### 【請求書類の発行について】

公費支払いをご希望の場合他，請求書類が必要な場合には，学会事務局宛にメールにてご依頼願います。その際は下記内容をお知らせ願います。

- ・会員番号
- ・お名前
- ・必要な書類（例：見積書，請求書，納品書）
- ・宛名および日付の記載（請求書類に記載する通りにご指示願います）
- ・送付先のご住所およびご担当者氏名
- ・やむを得ない事情により 10/20 までに振り込みが完了できない場合，その理由と振込予定日

## 2-4. 大会および懇親会参加の申し込み

現地会場において大会および懇親会に参加される方は、以下のフォームから期日までに申し込みをお願いいたします。

**大会・懇親会参加申し込み** (締め切り日時：10/20(金) 23:59)

URL: <https://business.form-mailer.jp/fms/bd23a4e788440>



## 2-5. 個別報告等の申し込み, 各問合せ先に関して

受け付けフォーム(個別報告・個別報告用プレゼンファイル・個別報告論文予稿)が公開されました。各サイトの申込フォームから期日までに申し込みをお願いいたします。

**個別報告(現地会場報告+承認済オンライン報告)申し込みおよび要旨提出**

(締め切り日時：8/21(月) 23:59)

URL: <https://business.form-mailer.jp/fms/ebc136a9173043>

★ **個別報告(オンライン報告)希望申請** (締め切り日時：8/14(月) 23:59)

URL: <https://business.form-mailer.jp/fms/1b7495e2202566>

**個別報告用プレゼンファイル(PDF)の提出** (締め切り日時：10/20(金) 23:59)

URL: <https://business.form-mailer.jp/fms/9b6f3b99173045>

**個別報告論文予稿の提出** (締め切り日時：10/20(金) 23:59)

URL: <https://business.form-mailer.jp/fms/2e5e7cff173044>

※詳細・各パスワードは、【別紙】を参照ください。

★ **個別報告(オンライン報告)の希望申請については、学会二役および企画担当で審査を行います。この審査の結果、やむを得ない事由が認められた場合のみ、申し込みおよび要旨提出が可能です。やむを得ない事由については、海外出張中のために現地会場にて報告できない、大学院修了後に帰国した留学生による海外からの報告であるなど、物理的に現地での大会参加が不可能な場合に限りです。**

個別報告申し込み、個別報告優秀賞応募に関する問い合わせ先

[arafe-plan2023@googlegroups.com](mailto:arafe-plan2023@googlegroups.com)

地域農林経済学会企画担当理事

個別報告論文予稿に関する問い合わせ先

[editors-arfe@nacos.com](mailto:editors-arfe@nacos.com)

地域農林経済学会常任編集委員会

### 3. 大会講演会

10月28日(土) [13:00~16:15]

第73・74回大会統一テーマ「みどりの食料システム戦略と有機農業の可能性」

第73回大会講演会テーマ

「みどりの食料システム戦略と有機農業技術普及の課題：欧州の経験と示唆」

第73回および第74回大会では、統一テーマとして「みどりの食料システム戦略と有機農業の可能性」を設定している。本年度の第73回では、講演会形式の問題提起・共有の機会として、みどりの食料システム戦略を題材に、有機農業技術の普及可能性を検討することにより、農林業問題研究の現代的課題を位置付けることを目的とする。

みどりの食料システム戦略では、特に農業部門において、①化学農薬の使用量（リスク換算）を50%低減させること、②輸入原料や化石燃料を原料とした化学肥料の使用量を30%低減させること、③耕地面積に占める有機農業の取組面積の割合を25%（100万ha）に拡大すること、という具体的な目標が示されている。しかし、これらの目標の達成を可能とする技術的な手段の提示については、イノベーションやデジタル化の推進、科学技術の活用等の具体性に欠ける範囲、すなわち、農業のスマート化・デジタル化への過度の期待を背景とした将来展望にとどまっている。このとき、これらの目標を達成するためには、むしろ我が国における有機農業普及の技術的な課題を具体化し、欧州における「Farm to Fork（農場から食卓まで）戦略」からそれらの普及戦略を学ぶことから始める必要があると考える。

そこで、第73回大会では、以下の基調講演と若手講演3題をお招きし、みどりの食料システム戦略と我が国における有機農業技術普及の可能性を国際的な視野も含めて考える機会としたい。なお、第74回大会では、本大会において共有した問題認識を基礎として、シンポジウム形式の議論を計画している。

1. 会長講演 秋津元輝（京都大学）
2. 基調講演 みどりの食料システム戦略と有機農業の農業論：農の原点に立ち帰って考える（仮）  
中島紀一（茨城大学名誉教授）
3. 若手講演1 より持続可能なフードシステムに向けた EU 有機農業振興政策の貢献と課題（仮）  
浅井真康（農林水産政策研究所：現 OECD 派遣中）＝オンライン報告＝
4. 若手講演2 オーストリアにおける有機農業技術普及の現状と農業環境政策（仮）  
石倉 研（龍谷大学）
5. 若手講演3 Organic farming systems and rural development in Italy;  
current situation and way forward (Working title)  
Simona Zollet（広島大学）

#### 4. 個別報告

10月28日（土）[9:00～12:00]（個別報告優秀賞対象報告を含む）

10月29日（日）[9:00～14:00, 16:00～17:00]

両日ともに、終了時刻は変更することがあります。

- 1) 報告は1件につき、30分（報告20分、質疑応答10分）を予定しています。
- 2) 同一筆頭報告者による報告は一報告に限ります。
- 3) 共同報告の場合は、原則として、筆頭報告者が報告しなければなりません。
- 4) 個別報告の申し込み方法、個別報告論文投稿等については、【別紙】の1・2を参照してください。
- 5) 個別報告優秀賞は、大会時点（2023年10月28日）で37歳未満の若手会員が対象です。個別報告優秀賞応募の方法については、【別紙】の3を参照してください。

## 5. 国際シンポジウム（後援：日本有機農業学会） 10月29日（日）[14:00～16:00]

**2023 International Symposium of the Association for Regional Agricultural and Forestry Economics**  
sponsored by the Japanese Society of Organic Agriculture Science

**Scaling up Agroecology from Policies to Practices:  
Emerging Policies and Contradictions in the Global North**

「政策および実践におけるアグロエコロジーの普及  
－日欧米におけるアグロエコロジー政策の展開と矛盾－」

座長：関根佳恵（愛知学院大学）

司会：増田忠義（近畿大学）・高篠仁奈（立命館大学）

### Concept of the Symposium

At the Second International Symposium on Agroecology held in Rome in 2018, the United Nations (UN) initiated the Scaling Up Agroecology Initiative, to transcend the global challenges such as climate change, biodiversity loss, hunger, and social inequality. Echoing this initiative, the countries in the Global North recently launched their respective new agri-food policies aiming to transform their current food systems toward more sustainable systems. The European Green Deal, 2019 and Farm to Fork Strategy, 2020; the United States' Agriculture Innovation Agenda, 2020; and Japan's Strategy for Sustainable Food Systems (MeaDRI), 2021 are examples of these efforts.

Although these greening policies are rapidly gaining visibility in agri-food debates, they are also highly questioned by scientists, farmers' organizations, civil society organizations because of their insufficiency, incoherency, lack of budget or support, and missing participatory approaches. The UN Food System Summit held in 2021 was a symbolic event for both countries that promoted their greening agri-food policies and the civil society organizations that boycotted and overtly criticized these initiatives.

Against this backdrop, the Association for Regional Agricultural and Forestry Economics (ARAFE) will organize two consecutive international symposia on "Scaling Up Agroecology from Policies to Practices" in 2023 and 2024. The international symposium of 2023 focuses on "Emerging Policies and Contradictions in the Global North." We have invited three speakers to analyze the greening of agri-food policies and their consequences and contradictions in the EU, the US, and Japan with interdisciplinary approaches.

Symposium Organizers: Executive Board Members for Internationalization of  
the Association for Regional Agricultural and Forestry Economics

Prof. SEKINE Kae (Aichi Gakuin University)  
Assoc. Prof. MASUDA Tadayoshi (Kindai University)  
Assoc. Prof. TAKASHINO Nina (Ritsumeikan University)

Welcome Address:

President of ARAFE, Prof. AKITSU Motoki (Kyoto University)  
President of JSOAS,  
Prof. TANIGUCHI Yoshimitsu (Akita Prefectural University)

Presentation 1: Emerging Policies and Contradictions in the EU: A Fair,  
Healthy and Environmentally Friendly Food System by 2030

Prof. PENKER Marianne  
(University of Natural Resources and Life Sciences Vienna)

Presentation 2: Emerging Policies and Contradictions in the US: The Organic  
Label as a Agroecological Policy Lever

Ms. ICHIKAWA Nina F. (Berkeley Food Institute, University of  
California)

Presentation 3: Emerging Policies and Contradictions in Japan: Pathways to  
Agroecology within the Framework of a Production-oriented  
Agricultural Policy

Prof. ISHII Keiichi: (Tohoku University)

Commentators: Prof. MAHARJAN Keshav Lall (Hiroshima University)  
Prof. KOHSAKA Ryo (University of Tokyo)

Concluding Remarks: Prof. SEKINE Kae (Aichi Gakuin University)

Closing Remarks: Vice President of ARAFE,  
Prof. ADACHI Yoshihiro (Kyoto University)

★ なお、質疑応答では日本語でも行うことができます。

## 6. その他連絡事項

### (1) 宿泊について

大会事務局，学会事務局では斡旋いたしません。各自でご予約ください。

※東広島駅（新幹線）から広島大学へは，土日はバスがありません。そのため，西条駅周辺のホテルを予約することをお勧めいたします。

### (2) 昼食について

10月28日（土）の昼食時間帯（11：00～14：00）は，キャンパス内の生協食堂（大学会館食堂）が営業しています（変更される場合があります。また，弁当などの数も限られています）。

10月29日（日）は，生協購買部，食堂などすべて閉店しており，キャンパス内で食事を調達することができません。29日に参加される方は，各自で昼食をご持参ください。  
両日とも，一般参加者向けに弁当販売はいたしませんのでご注意ください。

### (3) 大会期間中の保育／託児室設置について

今大会では，お子様同伴で参加を予定される方のために，有償で利用可能な保育室の設置を予定しています。保育室の利用をご希望の方は，必ず 9月18日（月）までに，下記の申し込み先へお子様の年齢・人数と利用日時をお知らせいただいております。

事前の申し込みがあった場合のみ，保育室と保育係を準備いたします。なお，個人負担額は1日：5,000円，半日 3,000円です。

申し込み先：大会事務局 長命洋佑（chomei@hiroshima-u.ac.jp）

### (4) 広島大学東広島キャンパスへの交通手段について

会場までのアクセスについては広島大学 HP のアクセス情報（東広島キャンパス）をご参照ください。

<<https://www.hiroshima-u.ac.jp/access/higashihiroshim> >

#### ○ JR 山陽本線を利用する場合（それぞれ，約20分）

- ・ JR 西条駅前からバス「広島大学」行に乗り，「広大西口」バス停で下車します。
- ・ JR 八本松駅前からバス「広島大学」行に乗り，「広大西口」バス停で下車します。

※ JR 西条駅からの方が，バスの便数が多く便利です。

#### ➤ 広島大学周辺のバス停

広大中央口 ➡ 広大北口 ➡ 広大二神口 ➡ 二神山 ➡ 広大西口 ➡  
大学会館前 ➡ ががら口

- ★ 27日の地域シンポジウムに参加の方は，広大中央口で下車してください。  
28日・29日の大会シンポジウム，個別報告等に参加の方は，広大西口で下車してください。



○ 山陽新幹線を利用する場合

- ・ 新幹線東広島駅前からバス「広島大学」行に乗り、「広大西口」バス停で下車します。（約15分）

**JR** バス時刻表

<<https://www.hiroshima-u.ac.jp/system/files/115653/20190316saijyousen-2.pdf>>

- ※ バスの便数が少ないため、時刻表を確かめてからお越しください。  
土日はバスが運行がありません。タクシーでお越しください。  
東広島駅には一部の列車を除き「こだま」のみが停車するため、「のぞみ」あるいは「ひかり」を利用して広島駅で下車し、**JR** 山陽本線を利用して西条駅まで移動（戻る）する方が短い所要時間となる場合があります。

東広島駅から東広島キャンパスまでタクシーを利用した場合は、  
**所用時間約15分，料金は約2,000円** です。

○ 自家用車でお越しの場合は，大学内の駐車場（無料）に駐車してください。

# キャンパスマップ

①の方向に歩いていきますと、スーパーやコンビニエンスストアがあります(約10-15分).

28日：懇親会  
西条HAKUWAホテル

27日  
バス停（広大中央口）

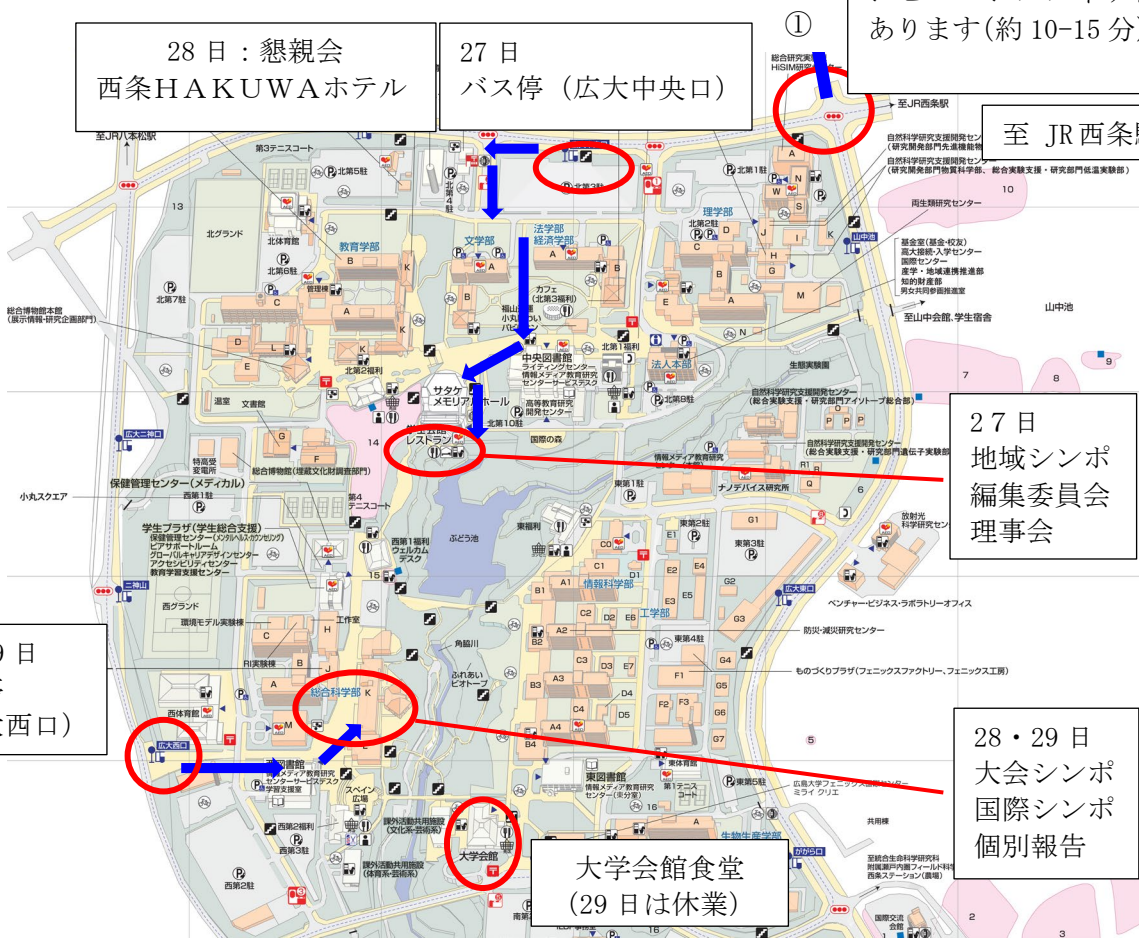
至 JR西条駅

27日  
地域シンポ  
編集委員会  
理事会

28・29日  
バス停  
（広大西口）

28・29日  
大会シンポ  
国際シンポ  
個別報告

大学会館食堂  
(29日は休業)



## ➤ 広島大学周辺のバス停

広大中央口 ➡ 広大北口 ➡ 広大二神口 ➡ 二神山 ➡ 広大西口 ➡  
大学会館前 ➡ ががら口

## 東広島キャンパス



★ 広島大学直通バスルートマップ  
[https://www.hiroshima-u.ac.jp/system/files/138241/201703bus\\_route\\_map-1.pdf](https://www.hiroshima-u.ac.jp/system/files/138241/201703bus_route_map-1.pdf)

## 【別紙】

### 各申し込みの先の URL・提出期限および連絡先一覧

個別報告（現地会場報告＋承認済オンライン報告）	（締め切り日時：8/21（月）23:59）
URL： <a href="https://business.form-mailer.jp/fms/ebc136a9173043">https://business.form-mailer.jp/fms/ebc136a9173043</a>	パスワード【20230821】
個別報告で用いるプレゼンファイル（PDF）の提出	（締め切り日時：10/20（金）23:59）
URL： <a href="https://business.form-mailer.jp/fms/9b6f3b99173045">https://business.form-mailer.jp/fms/9b6f3b99173045</a>	パスワード【20231020】
個別報告論文予稿の提出	（締め切り日時：10/20（金）23:59）
URL： <a href="https://business.form-mailer.jp/fms/2e5e7cff173044">https://business.form-mailer.jp/fms/2e5e7cff173044</a>	パスワード【20231020】

個別報告申し込み、プレゼンファイル提出、個別報告優秀賞応募に関する問い合わせ先  
arafe-plan2023@googlegroups.com 地域農林経済学会企画担当理事  
個別報告論文予稿に関する問い合わせ先  
editors-arfe@nacos.com 地域農林経済学会常任編集委員会

### 1. 個別報告の要旨原稿の様式・申し込み方法等に関して

#### (1) 個別報告の要旨原稿の様式

1. 要旨原稿のフォーマットは、学会ウェブサイト (<https://a-rafe.org/>) の「学会誌」にある個別報告要旨様式（作成要領・見本）を参照してください。
2. 要旨原稿は、Wordで作成したファイルを、必ずPDFファイルに変換してください（A4版：1枚）。ファイル名は、下記の事例を参照してください。

例）（単独の場合）〇〇大学・農経花子.pdf （複数の場合） 〇〇大学・農経花子他.pdf

また、所属機関の書き方は、下記の事例を参照してください。

例）（社会人の場合）〇〇大学、 〇〇研究所、（大学院生の場合）〇〇大学大学院  
（学部学生の場合）〇〇大学△△学部、（日振特別研究員の場合）学振特別研究員・〇〇大学

★ 個別報告要旨は学会ウェブサイトにアップロードします。

#### (2) 個別報告の申し込み方法

1. 申し込みおよび要旨原稿（PDFファイル）の提出は、上記URLから行ってください。
2. フォームの「IX個別報告要旨のファイル（PDFに限る）を添付してください。」の欄では、参照ボタンをクリックし、要旨原稿ファイルを選択してください。
3. 「送信する」のボタンを押した後、返信メールが、連絡先メールアドレスに送られる仕組みになっています。数時間たっても連絡先メールアドレスに、受付完了のメールが届かない場合には、再度申請をお願いいたします。
4. 「地域農林経済学会個別報告申請フォーム」入力に関しての質問は、電話では一切受け付けません。また、入力ミスへの修正対応はできません。
5. 筆頭報告者には、会員の資格が必要です。非会員の方には、入会手続きをお願いいたします。個別報告の申込期限（8月21日（月））までに、入会金と年会費の納入が必要です。詳細は、学会ウェブサイト参照ください。

#### (3) 個別報告で使用するプレゼンテーションファイル等に関して

1. 個別報告でPDF ファイルをプレゼンテーションに使用する場合  
☆プレゼンファイルは、PDFのみです。PowerPointなどで資料を作成される場合は、必ずPDFファイルに変換をしてください。
- ① 個別報告会場に備え付けのプロジェクターと PC（OS は Windows）で報告していただきます。持ち込

みPC, タブレット, OHP 等は利用できません。

- ② プレゼンファイルは, 10月20日(金)23時59分までに, 上記URLから提出してください。締切り以降は受け付けません。また, 当日のファイルの差し替え等も受け付けるとはできません。会場でのPC使用の便宜のため, PDFファイルには, 下記のように名前を付けてください。

例) 報告者が, 個別報告優秀賞に応募で, 第1会場の第1報告の場合  
(単独の場合) 特0101p・農経花子.pdf (複数の場合) 特0101p・農経花子他.pdf  
報告者が, 一般報告に応募で, 第3会場の第6報告の場合  
(単独の場合) 0306p・農経花子.pdf (複数の場合) 0306p・農経花子他.pdf

- ③ ファイルの容量の上限は3MBです。3MBを超えるファイルは受け付けることができませんので, 図や写真を圧縮するなど工夫してください。
2. 個別報告で紙媒体を用いる場合  
聴講者数分の部数を用意して, 当日報告会場に持参してください(事務局では印刷は行いません)。

## 2. 個別報告論文としての投稿に関して

1. 大会終了後に個別報告の内容を「個別報告論文」として『農林業問題研究』に投稿する予定がある場合には, 「個別報告論文投稿要領」(学会ウェブサイトに掲載)の2に従って, 「個別報告論文予稿」を作成してください。なお, 「個別報告論文予稿」を作成する際には, 学会ウェブサイトに掲載されている「個別報告論文テンプレート」を必ず用いるとともに, 8ページ以内に収まるようにしてください。
  2. 作成した「個別報告論文予稿」は, 10月20日(金)23時59分までに上記URLから提出してください(PDFファイルに変換のこと)。  
なお, 学会ウェブサイトの「研究大会」－「個別報告－申し込み要項」からも上記URLにリンクしていますので, そちらから利用して頂くことも出来ます。
- ※「個別報告論文予稿」を上記提出先に期限までに提出しない場合, 個別報告論文の投稿が認められませんので, 注意してください。

- 3 個別報告論文予稿のPDFファイルには, 下記のように名前を付けてください。

例) 報告者が, 個別報告優秀賞に応募で, 第1会場の第1報告の場合  
(単独の場合) 特0101・農経花子.pdf (複数の場合) 特0101・農経花子他.pdf  
報告者が, 一般報告で, 第3会場の第6報告の場合  
(単独の場合) 0306・農経花子.pdf (複数の場合) 0306・農経花子他.pdf

4. ファイルの容量の上限は, 3MBです。3MBを超えるファイルは, 受け付けることができませんので, 図や写真を圧縮するなど工夫してください。
5. 大会終了後に提出して頂くことになる個別報告論文の投稿方法・締め切り等については, 大会前に常任編集委員会から投稿案内がメールにて送付される予定です(学会ウェブサイトでも告知します)。個別報告論文の書き方・提出方法等については, 学会ウェブサイトに掲載される「個別報告論文テンプレートファイル」および「個別報告論文投稿要領」に従ってください。
6. 連名報告での報告者の順番と, 個別報告論文での執筆者の順番は, 同じでなければなりませんので, ご注意ください。

## 3. 個別報告優秀賞の応募方法について

個別報告優秀賞に応募される方は, 「個別報告論文予稿」の提出が必須です。「個別報告論文予稿」の提出がない場合には, 審査の対象になりません。

個別報告を申し込まれる際に, 「地域農林経済学会個別報告申請フォーム」の以下の3項目に必要事項を記入し送信してください。

- 【Ⅷ個別報告優秀賞への応募を希望しますか?】
- 【「はい」と希望した場合には, 2023年10月28日時点での筆頭報告者の年齢を入力してください。】
- 【今回の応募は, 研究論文等として投稿中の研究ではありませんね?】

なお, 個別報告優秀賞への応募できるのは, 大会初日の時点での筆頭報告者の年齢が37歳未満の場合です。また, すでに研究論文等として投稿中の研究は応募できません。ご注意ください。